

令和6年2月 5日

部内各課（廨）長 様

土 木 部 長

（公印省略）

令和6年能登半島地震の被災地域における

災害復旧工事等の労働者宿舎の設置等に関する当面の措置について（通知）

被災地域における建設工事等の予定価格の設定については、「令和6年能登半島地震における円滑な発注及び施工体制の確保について」（令和6年1月29日付け監第1401号）において、見積書を積極的に活用して積算する等、施工地域の実態に即した実勢価格等を機動的に把握し、適切な予定価格の設定に努めるようお願いしたところです。

今般、令和6年能登半島地震の被災地域における災害復旧工事等（災害応急対策、災害復旧に関する工事及び調査、測量、設計等をいう。）において、被災地周辺に宿泊可能な施設がなく、現地に労働者用宿舎の設置やキャンピングカーの手配、倉庫を借り上げて宿泊施設とする場合等の費用が必要となった場合の費用計上について、別添のとおり、国土交通省直轄工事における当面の措置が示されたところです。

これを受け、本県発注工事における積算の取扱いについて、下記のとおり定めたので通知します。

記

被災地周辺に宿泊可能な施設がなく、現地に労働者用宿舎の設置やキャンピングカーの手配、倉庫を借り上げて宿泊施設とする場合等の費用を必要とする場合は、受発注者協議のうえで、見積りを活用し以下のとおり計上するものとする。

なお、見積りについては間接費込みの見積りとし、全ての諸経費対象外で計上すること。

- ・ 工事：共通仮設費の営繕費に「労働者宿舎等費用」として計上する。
- ・ 業務：直接経費または間接調査費に「労働者宿舎等費用」として計上する。

※被災地周辺に宿泊施設がある場合は、「地域外からの労働者確保に要する間接費の設計変更の運用基準」（令和6年1月29日付け監第1385号）により、適切に積算すること。

（ 事 務 担 当 ）

石川県土木部監理課

技術管理室

TEL：076(225)1787